



地震・津波から身を守れ 中 家の中 逃げ場が必要

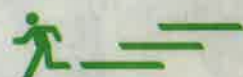
地震は突然やってきます。台風なら「暴風警報」が出たら外には出ない、ということで身を守れますが、地震はそうはいきません。地震から身を守るためには、日々の備えが必要です。

1995年に関西地方で起きた阪神・淡路大震災では、立派なビルも写真のように傾いてしまいました。1階の奥の方に比べ、道路に面した前の方は柱だけなので、建物全体がねじれ、すべての柱が壊れてしまいました。

1階がほとんど柱だけの駐車場、2階以上に部屋があるような「ピロティ住宅」(ピロティはフランス語で「くい」の意味)は地震に対して特に注意が必要です。壁が少ない階数のあるビ

ルにも気をつけましょう。

県では、地震への設計法が変わった81年よりも前に建てられた建物は、地震に対して大丈夫かどうか「耐震診断」をしています。もし「安全性に疑問あり」となったら、「耐震補強」するよう指導しています。

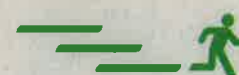


壊れにくい建物にすることも大事ですが、いざ地震が襲ってきたらどうするべきかを知ることとても大切です。具体的に考えていきましょう。

家にいるときに地震が起こった

場合、一時的に逃げ場となる空間が必要です。家具や物が少ない部屋を1カ所でも良いので決めておきましょう。家具やテレビが倒れたり、落ちたりしないように固定し、特に寝室では、寝ている場所に家具が倒れてこないよう、離しておきましょう。

家の外の危険チェックも重要です。割れた破片が飛び散らないように窓ガラスにフィルムを張っていますか? ベランダはいつでも避難できるように、整理整頓されていますか? 逃げ道にあるブロック塀が傾いていたり、ひび割れていたりしませんか?



災害が発生すると、電気、ガス、水道が使えなくなることがあります。家族が3日間過ごせるくらいの水や食料、衣類などの防災グッズを準備しておきましょう。

いざというときにどうすればよいか、いろんな場面を考えて、日ごろから家族で確かめておきましょう。

今回は「津波への備え」について解説します。

(NPO県建築設計サポートセンター・天野輝久)



阪神・淡路大震災で傾いてしまったビル(1995年)

防災グッズ 事前に準備



準備したい防災グッズ

- ☐ 飲料水 ☐ マッチ・ライター ☐ ろうそく
- ☐ 衣類 ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 懐中電灯 ☐ 乾電池
- ☐ 食料品 ☐ 貴重品 ☐ 救急セット
- ☐ 簡易ガスコンロ ☐ 雨具
- ☐ トイレtpペーパー ☐ あったら便利なもの